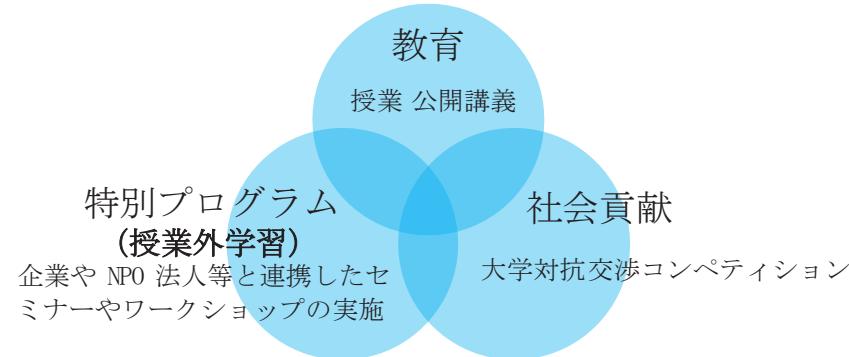


【プログラム構成】



【運営体制】

- ◆グローバルリーダーシップディレクターズボード
- ◆アドバイザー

鷲田清一 元大阪大学総長

- ◆GLPSC (学生主体)
- ◆ROSTER (講師陣)
- ◆大阪大学リーダーシップ教育研究会
- ◆パートナー

株式会社パソナグループ、住友林業株式会社、住友化学株式会社
NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

- ◆アソシエート
- 三井住友海上火災保険株式会社、三井住友信託銀行株式会社、
株式会社アルセッド建築研究所

【授業外での学習の場】

大学対抗交渉コンペティション (INC)

INCは日本の大学で世界に通用する交渉者を養成することを目標としています。

NPO法人グローバルリーダーシップアソシエーション (GLEA)

GLEAは、公共のためにリーダーシップを発揮できる強い倫理観を持った人材を養成することを目標とします。

詳しい情報は、<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/> でご覧いただけます。

大阪大学大学院国際公共政策研究科連携分野 グローバルリーダーシップ・プログラム

【設立趣旨】

大阪大学グローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) は、**学生に主体的な学びの機会と場を提供する**ために、篤志家による寄付により 2007 年 4 月に設立されました。

【教育目標】

リーダーシップは首相や社長などの地位から生じるものではありません。リーダーシップの基本は、市民一人一人が**責任を持って社会的問題を解決しようとする行動**にあります。GLP は、**国境を越えた公共的課題を解決するために社会を変革するリーダーシップを備えた人材を育成**します。

【GLPの4原則】

本物から学ぶ	企業経営、政治・行政や国際社会で優れたリーダーシップを実践してきた方々を講師に迎えます。
対話で変わる	対話を通じて反省と気づきを繰り返し、倫理と教養に裏付けられたリーダーシップの基礎を作ります。
アートで感じる	音楽や演劇、文化と融合した新しい教育方法によって、鋭敏な感覚、即興力と人の心を動かす力を養います。
やってみる	志のある人々と学生が協働して授業を創ることでリーダーシップを学びます。

授業は、大阪大学の学生なら誰でも受講または聴講することができます。社会人や他大学の学生も、科目等履修制度が利用できます。

連絡先

大阪大学大学院国際公共政策研究科 (GLP 事務局 / 交渉教育支援センター)

〒560-0043 豊中市待兼山 1-31 直通 : 06-6850-5629

[E-mail\) glp@osipp.osaka-u.ac.jp](mailto:glp@osipp.osaka-u.ac.jp)

[\(URL\)http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/](http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/)

【大阪大学グローバルリーダーシップ・プログラムの模様】

実践グローバル・リーダーシップ Practicing Global Leadership

グローバルな社会に生きる私達が、どのようにしたらグローバルに通用するリーダーシップを会得できるかを五感を通じて明らかにしましょう。

2020年度 国際公共政策学科 1年

常に目標を設定し、それを実現・達成するサイクルを回すことで、小さな成功体験、自信を積み重ねていくことができるということがわかった。将来、何か挫折したり落ち込んだりすることがあるとしても、小さい成功体験をつくることによって、自信回復につながるように、心がけておきたいと思った。そして、目指したタイミングで結果が出せなくても、努力して身に着けたものはいつか必ず役に立つので、困難な時ほど地道に努力するという重要性を学んだ

経営者と語るリーダーシップ

Learning Leadership from Business Leaders

企業のトップをゲストに招き、未曾有の経済危機の中でも相互依存を強めるアジアの中で、グローバルな事業戦略、社会責任（CSR）、そしていかにリーダーシップを果たしていくかを学生と対話します。

2020年度 国際公共政策学科 3年

ゲストから学んだことや、自分自身、そして組織全体を振り返ってみて、「オンラインで主体的に参加するってどうしたらいいんだろう？」と手探りだった初回の授業からすると、「組織の構成員全員で授業を作り上げる」というところまで持っていくようになったのではないかと思います。

リーダーシップデザイン

Leadership Design

リーダーシップを身につけることは、多様な経験による自己鍛錬の航海のようなものです。国際舞台での実務経験のある教員によるワークショップ型授業のメリットは、多様な視点を持つ学友たちとの対話を通じて、「自分らしさ」のある独自なリーダーシップ能力に気づくことです。「デザイン思考」によって、今までとは違う自分を発見し、自分自身に驚嘆してみてください。ポナペティ！

リーダーシップを考える

Taking Leadership Seriously

少人数のセミナー形式で学生と教員が連携企業と協働し、授業や公開講座を企画し運営する活動の中で、責任あるリーダーシップの在り方を具体的に学びます。

ネゴシエーション

Negotiation

交渉やディベートの練習を繰り返しすることによって、ビジネスマナー、チームワーク、マネジメントおよびリーダーシップを失敗や失意も経験しつつ、具体的に習得します。

国際問題

International Affairs

担当教員の外交に関する実践的な知識と豊富な実務経験を踏まえ、日本外交の歴史の理解と現下の外交トッピックを研究します。

GLP出身の活躍者

Active participant

西嶋 聰（大阪大学国際公共政策研究科 招へい教員/（株）グロービスコンサルタント）

- 実践GL・経営者と語るLP・リーダーシップを考える 担当 -

社会人になってからは滅多にお会いできないような素晴らしいゲスト講師陣と対話する貴重な機会でした。受講から10年経ちましたが、当時のゲスト講師の言葉は今も胸に刻まれており、自分の人生に活きています。

阿部 友香（大阪大学国際公共政策研究科 招へい教員）

- ネゴシエーション 担当 -

交渉にはStorytellingの力が不可欠であることを実感した。相手のストーリー、また、自分のストーリーを展開することで双方の要望を「引き出し」、提案の幅を広げができる。この授業は、Storytellingの訓練を行う最適の機会だと感じた。